



5月17日の『子ども食堂』では、本当にたくさんのお野菜をいただきありがとうございました。メニューは、◎ミートソースパスタ◎コールスロー◎ポテト◎野菜たっぷりスープで、たくさんのお野菜を使いました。とくに野菜たっぷりスープは、みなさんから、『スープおいしい?』と感想をいただきました?また、食べに来られた皆さまに、お野菜をお持ち帰りいただき、子どもたちの食育になったと思います! (スタッフの宮本さん)

松戸市小根本で5月から月2回『小根本みんなのbettakuごはん』がオープン!おめでとうございます。

お届けの野菜 サニーレタス・キャベツ 1/2・向陽人参・大根 (厚くなり肌が悪いですがよろしくお願いします)・ズッキーニ (ラタトゥイユや輪切りにしてフライパンで焼いて塩コショウで。)・スイスチャード (ほうれん草と同じ仲間なのでおひたしやバター炒めやサラダやみそ汁などで。)

簡単レシピ

❖写真の**重ね煮**は下から塩、えのき、キャベツ、里芋、玉ねぎ、豆腐、味噌の順番に敷き入れました。蓋をして弱火にかけたただけなんですけど、とても美味しかったです。(ななちゃん)



畑だより

今年はトマトもナスもピーマンも他の野菜もいつもの年より体が小さいです。例年は連休中に旅立つヒキガエルのケロちゃん達ですが今年はまだ5匹位水槽に残っています。5月の低温と日照不足は植物や生き物たちにとって大変だったんですね。



野菜ともだちの声

畑に野菜を買いに来てくれる松ちゃんが白子で買ってきた玉ねぎをどっさりくれました。

お礼のメールをしたら素敵な返事が来たのでご紹介させていただきます。

❖私は多くのことはできませんが、できることで周りを笑顔にできることであるならば喜んでするつもりです。そして、もし叶うならその受け取った嬉しかった気持ちを、僕ではなく、別の大切な誰かに渡してあげて欲しいです。そうあれば素敵だなと思います。(まっちゃん)

読んで 観て 聴いて (6月) *本や映画やコンサート等の話題をお手伝いの箭田川さんが紹介してくれます。

「六つの村を越えて髭をなびかせる者」西條奈加著 PHP 文庫

江戸時代に、九度蝦夷地 に渡った実在の冒険家、最上徳内を描いた歴史小説。貧しい農家に生まれながら、蝦夷地見分隊に随行し、目にしたのは、美しい北の大地と逞しく生きるアイヌの人々だった。アイヌ語を覚え、友情を築いていくが、松前藩との確執、ロシアとのつながり、幕府の思惑と、多くの困難にぶつかる。それでも、徳内は北を目指して進んでいった。そんな徳内は、シーボルトが最も尊敬する日本人だったそう。かつてないスケールの大きい作品に取り組んだのは、筆者が北海道出身だからか。また、参考文献の膨大な量に驚いた。徳内が没して180年。今の北海道の大地を、アイヌの暮らしを、徳内はどう思うだろうか。



6/26 (木) 人参・大根・玉葱等

野菜の傷みや苦手な野菜なので別の野菜にとのご要望がありましたらご連絡ください。